Call 公募	HORIZON-CL3-2026-01-FCT-03
Project	**Missing persons: prevention and investigation** HORIZON-CL3-2026-01-FCT-03
Topic description トピックの説明	期待される成果： 本プロジェクトの成果は、以下の期待される成果の**一部またはすべて**に寄与することが期待される： ● 欧州の警察当局および市民社会組織（または非政府組織）が、行方不明者の発生を防止するためにリスクのあるグループと連携できるよう、そのスキル、ツール、および研修カリキュラムを充実させる。こうしたスキル、ツール、および研修カリキュラムの改善にあたっては、欧州の多文化的な側面に加え、業務に関する法的・倫理的規範も考慮に入れる必要がある。 ● 最新の（法科学）技術および犯罪学に基づき、欧州の警察当局が行方不明者に関する未解決事件に取り組むための、捜査ツールおよび手法の強化； ● 警察当局向けの現代的な研修カリキュラム、国境を越えた協力体制の強化、および新たな行方不明者事件に対処するためのツールや手法の充実； ● 欧州の警察当局が、行方不明者問題に対処するために採用している、強化された欧州共通のアプローチ。これは、技術の相乗効果、事例から得られた最新の社会心理学的知見、ならびに警察当局や被害者支援機関の現場経験を活かしたものであり、プライバシー、個人データの保護、被害者の匿名性といった基本的権利を完全に尊重しつつ実施されている。 スコープ： 行方不明者問題は、多様なカテゴリーにまたがり、さまざまな要因の影響を受ける多面的な課題である。人々は、自発的な失踪、誘拐、精神的な危機に関連する事例、あるいは紛争、移住、地政学的不安定、自然災害など、さまざまな状況下で行方不明になることがある。脆弱な立場にある人々――とりわけ子ども、人身取引や搾取の被害者、障害者、および認知障害を抱える人々――は、行方不明になるリスクがさらに高く、その多くは過酷かつ危険な状況下で行方不明となっている。この問題に取り組むには、警察当局から市民社会組織（CSO）や非政府組織（NGO）を経て、社会全体が関与するに至るまで、複数のステークホルダーによる協調的な対応が必要である。 技術の急速な進歩と社会の発展が進む現代において、革新的な社会的・技術的ソリューションを活用し、行方不明者問題（未解決事件や新規事件の予防および／または捜査）に対処するための欧州の現行アプローチを改善することが急務となっている。この目的のためには、警察当局、市民社会組織（CSO）、非政府組織（NGO）が、脆弱な状況にある人々や子どもと関わるための、現代化されたスキル、研修カリキュラム、および手法が必要とされている。これには、欧州の多文化的な側面を考慮し、障がい者にも利用しやすい効果的な啓発キャンペーンなどが含まれる。捜査において、警察当局は、未解決事件を解決するために、最新技術や新興技術を活用した効率的なツールを必要としている。これには、現代の法科学（生体認証やデジタルフォレンジックを含む）と犯罪学を組み合わせた取り組み、例えば、古い DNA を活用するための最新ツールや、正確な顔面老化推定技術などが含まれる。複数の関係者が機密データのやり取りを行う場合、プライバシーを保護した形でデータ共有を行うためのツールの導入を検討すべきである。さらに、新たな行方不明事件については、国境を越えた協力体制の強化に加え、警察当局には、一方で、こうした状況により効率的に対処するための近代的な研修が必要であり、家族との対話や連携を強化し、必要に応じてジェンダーに配慮した交差的なアプローチを取り入れることが求められる。他方で、例えば、新規事件と未解決事件の DNA サンプルを迅速かつ確実に照合するための、最新の技術や科学捜査ツールも必要である。 提案が法科学に関するものである場合、そのコンソーシアムには法科学機関も参加させるべきである。このテーマで採択された提案間の連携を想定し、重複を避け、相互補完性を活用する

	とともに、より大きな波及効果を生み出す機会を最大限に活用すべきである。本テーマの下で資金提供を受ける提案については、法執行機関による将来のイノベーション導入を促進することを目的として、プロジェクト期間中にユーロポール・イノベーション・ラボとどのように連携するか（成果の検証を含む）についての構想を示すことが期待される。警察当局に対する研修に関しては、CEPOL が資金申請を行わないことを条件として、採択された提案と CEPOL との協力が期待される。関連するセキュリティ実務者による積極的な関与とタイムリーなフィードバックを確保するため、提案書には、プロジェクトに関与する実務者によって実施される、プロジェクトの中間成果の評価からなる中間成果物を盛り込む必要がある。最後に、提案書では、「犯罪・テロ対策」の目標の「はじめに」に記載されている、該当するすべての考慮事項に対処することが求められる。 技術成熟度レベル - 完了したプロジェクトにおいて期待される技術成熟度レベル 本プロジェクトの終了までに、各活動において TRL 6～8 の達成が見込まれている（一般付属書 B を参照）。